

高木博志教授 略歴・著作目録

略 歴

1959年6月	大阪府吹田市に生まれる
1978年3月	大阪府立茨木高等学校卒業
1983年3月	立命館大学文学部日本史学専攻卒業
1988年3月	立命館大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学
1988年4月	日本学術振興会特別研究員（1990年3月まで）
1991年4月	北海道大学文学部助教授
1997年6月	北海道大学・博士（文学）取得
1998年4月	京都大学人文科学研究所助教授
2002年4月	京都大学文学部授業担当（大学院は2008年4月より2025年3月まで）
2012年4月	京都大学人文科学研究所教授
2017年4月	京都大学人文科学研究所所長（2019年3月まで）
2025年3月	京都大学人文科学研究所教授 退職

主 要 業 績

単 著

- ・『近代天皇制の文化史的研究 ― 天皇就任儀礼・年中行事・文化財』校倉書房 1997年
- ・『近代天皇制と古都』岩波書店 2006年
- ・『陵墓と文化財の近代』山川出版社 2010年
- ・『近代天皇制と伝統文化 ― その再構築と創造』岩波書店 2024年

編 著

- ・『人文学報（特集・近代都市の諸相）』京都大学人文科学研究所 104号 2013年
- ・『近代日本の歴史都市 ― 古都と城下町』思文閣出版 2013年
- ・『人文学報（特集・日清戦争と東学農民戦争）』京都大学人文科学研究所 111号 2018年
- ・『近代天皇制と社会』思文閣出版 2018年
- ・『人文学報（特集・近代京都と文化）』京都大学人文科学研究所 120号 2023年
- ・『近代京都と文化 ― 「伝統」の再構築』思文閣出版 2023年

共 編 著

- ・『文化財と近代日本』（鈴木良と共編）山川出版社 2002年
- ・『みやこの近代』（丸山宏・伊従勉と共編）思文閣出版 2008年
- ・『近代京都研究』（丸山宏・伊従勉と共編）思文閣出版 2008年

- ・『文人世界の光芒と古都奈良 ― 大和の生き字引・水木要太郎』（久留島浩・高橋一樹と共編）思文閣出版 2009 年
- ・『歴史のなかの天皇陵』（山田邦和と共編）思文閣出版 2010 年
- ・『新修茨木市史』第 6 巻・史料編・近現代 茨木市 2011 年
- ・『鉄道がつくった日本の近代』（高階秀爾・芳賀徹・老川慶喜と共編）成山堂書店 2014 年
- ・『講座 明治維新 ― 明治維新と宗教・文化』（谷川稜と共編）有志舎 2016 年
- ・『新修茨木市史』第 3 巻・通史 3 茨木市 2016 年
- ・『世界遺産と天皇陵古墳を問う』（今尾文昭と共編）思文閣出版 2017 年
- ・『博物館と文化財の危機』（岩城卓二と共編）人文書院 2020 年
- ・*Kyoto's Renaissance: Ancient Capital for Modern Japan*, John Breen, Maruyama Hiroshi, Takagi Hiroshi (eds.), Renaissance Books 2020 年

共 著

- ・『新札幌市史』第 4 巻 通史 4（大衆文化・モダニズム・文化統制、担当）札幌市 1997 年
- ・『京都の歴史を歩く』（小林丈広・三枝暁子と共著）岩波書店 2016 年
- ・『京都 ― 流動的歴史』（小林丈広・三枝暁子と共著、謝躍訳）社会科学文献出版社 2018 年

主要論文

- ・「神道国教化政策崩壊過程の政治史的考察」『ヒストリア』104 号 1984 年
- ・「東京「奠都」と留守官」『日本史研究』296 号 1987 年
- ・「明治維新と大嘗祭」『日本史研究』300 号 1987 年
- ・「明治維新と賀茂祭・石清水放生会 ― 「朝廷の祭」から「神社の祭」へ」岩井忠熊編『近代日本社会と天皇制』柏書房 1988 年
- ・「日本の近代化と皇室儀礼 ― 1880 年代の「旧慣」保存」『日本史研究』320 号 1989 年
- ・「天皇をめぐる「賤」「穢」の変容 ― 維新変革における陰陽師・芸能賤民・夙の諸相」『歴史評論』486 号 1990 年
- ・「史蹟・名勝の成立」『日本史研究』351 号 1991 年
- ・「近代天皇制の文化的統合」掛谷幸平・馬原鉄男編『近代天皇制国家の社会統合』文理閣 1991 年
- ・「1880 年代、大和における文化財保存」『歴史学研究』629 号 1992 年
- ・「大嘗祭斎田抜穂の儀の歴史の変遷 ― 近代天皇制と地域」『日本史研究』372 号 1993 年
- ・「ファシズム期、アイヌ民族の同化論」赤澤史朗・北河賢三編『文化とファシズム ― 戦時期日本における文化の光芒』日本経済評論社 1993 年
- ・「維新変革と宮中儀礼」田中彰編『近代日本の軌跡 1 明治維新』吉川弘文館 1994 年
- ・「アイヌ民族への同化政策の成立」歴史学研究会編『国民国家を問う』青木書店 1994 年
- ・「日本美術史の成立・試論 ― 古代美術史の時代区分の成立」『日本史研究』400 号 1995 年
- ・「初詣の成立 ― 国民国家形成と神道儀礼の創出」西川長夫・松宮秀治編『幕末・明治期の国民国家形成と文化変容』新曜社 1995 年
- ・「国際観光と札幌観光協会の成立」『札幌の歴史』29 号 1995 年
- ・「近代神苑試論 ― 伊勢神宮から橿原神宮へ」『歴史評論』573 号 1998 年
- ・「桜とナショナリズム ― 日清戦争以後のソメイヨシノの植樹」西川長夫他編『世紀転換期の国際秩序と国民文化の形成』柏書房 1999 年（同論文（韓国語）洪善杓編『東アジア美術のモダンとモダニ

- ティール』ハッコジェ社（ソウル） 2009 年）
- ・「日本近代の文化財保護行政と美術史の成立」東京国立文化財研究所編『語る現在、語られる過去 ― 日本の美術史学 100 年』平凡社 1999 年
 - ・「『仁徳天皇陵』を世界遺産に！」『歴史学研究』725 号 1999 年
 - ・「国際観光と札幌観光協会の成立 ― 日中戦争前夜の観光ブーム」田中彰編『近代日本の内と外』吉川弘文館 1999 年
 - ・「近代における神話的古代の創造 ― 畝傍山・神武陵・橿原神宮、三位一体の神武「聖蹟」」『人文学報』83 号 2000 年
 - ・「官幣大社札幌神社と「領土開拓」の神学」岡田精司編『祭祀と国家の歴史学』塙書房 2001 年
 - ・「陵墓の近代 ― 皇霊と皇室財産の形成を論点に」篠原徹編『近代日本の他者像と自画像』柏書房 2001 年
 - ・「近代日本の文化財保護と古代美術」（韓国語）『美術史論壇』（韓国美術研究所） 2001 年
 - ・「近世の内裏空間・近代の京都御苑」成田龍一他編『岩波講座 近代日本の文化史』2 巻 岩波書店 2001 年
 - ・「近代天皇制と古代文化 ― 「国体の精華」としての正倉院・天皇陵」安丸良夫他編『岩波講座 天皇と王権を考える』第 5 巻 岩波書店 2002 年
 - ・「近代の陵墓問題と継体天皇陵」『近代国家と民衆統合の研究』仏教大学総合研究所紀要別冊 2004 年
 - ・「日本美術史／朝鮮美術史の成立」（韓国語）李成市他編『国史の神話を超えて』ヒューマニスト社（ソウル） 2004 年（同論文 岩本通称編『世界遺産時代の民俗学』風響社 2013 年）
 - ・「『郷土愛』と『愛国心』をつなぐもの」『歴史評論』659 号 2005 年
 - ・「記念祭の時代 ― 旧藩と古都の顕彰」佐々木克編『明治維新期の政治文化』思文閣出版 2005 年
 - ・「茨木キリシタン遺物の発見」『新修茨木市史年報』第 4 号 2005 年
 - ・The Meiji Restoration and the Revival of Ancient Culture. *Perspectives on Social Memory in Japan*, Global Oriental Ltd, Uk. Edited by Yun Hui 2005 年
 - ・「明治維新と賀茂祭」大山喬平監修『上賀茂のもり・やしろ・まつり』思文閣出版 2006 年
 - ・「近代日本と豊臣秀吉」（韓国語）『壬辰倭乱 ― 東アジア三国戦争』（鄭杜熙他編，西江大学国際韓国学センター企画）ヒューマニスト社（ソウル） 2007 年（同論文『壬辰戦争 ― 16 世紀日・朝・中の国際戦争』明石書店 2008 年）
 - ・「近代京都と桜の名所」『近代京都研究』思文閣出版 2008 年
 - ・「『史蹟名勝天然紀念物』昭和編・解題」『1926（大正 15）年 1 月～1944（昭和 19）年 8 月『史蹟名勝天然紀念物』（昭和編）解題・総目次・索引』不二出版 2008 年
 - ・「水木要太郎時代の奈良女子高等師範学校の修学旅行と学知」『文人世界の光芒と古都奈良 ― 大和の生き字引・水木要太郎』思文閣出版 2009 年
 - ・「近代日本の文化財と陵墓 ― 政治や社会との関わりにおいて」『考古学研究』56 巻 3 号 2009 年
 - ・「近代天皇制と天皇陵墓」『文化遺産』（中山大學）総第 11 期 2010 年
 - ・「開発と保存 ― 1932 年 7 月 23 日「東大寺旧境内」史蹟指定」『日本歴史』752 号 2010 年
 - ・「桜」板垣竜太・鄭智泳・岩崎稔編『東アジアの記憶の場』河出書房新社 2011 年（同論文『東アジアの記憶の場』（韓国語版）サムイン社・ソウル 2015 年）
 - ・「皇室の神仏分離・再考」明治維新史学会編『明治維新史研究の今を問う ― 新たな歴史像を求めて』有志舎 2011 年
 - ・Fabricating Antiquity in Modern Nara. *ZINBUN* 43. 2012 年

- ・「現地保存の歴史と課題 — 地域の文化財は地域のもの」『日本史研究』602号 2012年
- ・「京都のイメージはどのように創られたか? — 平安文化論の成立」(韓国語) ファン・ジョンヨン編『古都の近代』東国大学出版部(ソウル) 2012年
- ・The Buddhist Faith of the Japanese Imperial Family after the Meiji Restoration, *Japan Review* 25 2013年
- ・「修学旅行と奈良・京都・伊勢 — 1910年代の奈良女子高等師範学校を中心に」『近代日本の歴史都市 — 古都と城下町』思文閣出版 2013年
- ・「明治・大正期の長岡天満宮の整備」『長岡天満宮資料調査報告書 古文書編』長岡京市教育委員会 2014年
- ・「伝統文化の創造と近代天皇制」吉田裕他編『岩波講座 日本歴史』16巻 近現代2 岩波書店 2014年
- ・「第一次世界大戦前後の日本の文化財保護と伝統文化」藤原辰史他編『現代の起点 第一次世界大戦3精神の変容』岩波書店 2014年
- ・「1920年、茨木キリシタン遺物の発見」松沢裕作編『近代日本のヒストリオグラフィー』山川出版社 2015年
- ・「修学旅行と伊勢」ジョン・グリーン編『変容する聖地伊勢』思文閣出版 2016年
- ・「近代皇室における仏教信仰 — 神仏分離後の泉涌寺を通して」祭祀史料研究会編『祭祀研究と日本文化』塙書房 2016年
- ・「大正・昭和戦前期の学問と陵墓問題」『世界遺産と天皇陵古墳を問う』思文閣出版 2017年
- ・「陵墓問題の現在」歴史学研究会編『第4次現代歴史学の成果と課題3 歴史実践の現在』績文堂出版 2017年
- ・「富岡鉄斎が顕彰する国史 — 名教の精神を芸術に寓す」『史林』101巻1号 2018年
- ・「金光教と遊廓・花街 — 都市布教と民衆」『金光教教学研究所紀要 金光教学』58号 2018年
- ・「明治維新50年、60年の記憶と顕彰 — 1917年、1928年の政治文化」ダニエル・V・ボツマン他編『「明治150年」で考える — 近代移行期の社会と空間』山川出版社 2018年
- ・The 50th and 60th Anniversaries of the Meiji Restoration: Memory, Commemoration and Political Culture in the Pre-War Period, *Japanese Studies* (Taylor&Francis Online), Volume 38 2018年
- ・「小波魚青「戊辰之役之図」と明治維新観」並木誠士編『近代京都の美術工芸I — 制作・流通・観賞』思文閣出版 2019年
- ・「明治維新と豊国神社の再興」杉本哲也編『シリーズ三都 京都巻』東京大学出版会 2019年
- ・「近代天皇制と「史実と神話」— 代替わりに考える」『世界』929号 2019年
- ・「文化財と政治の近現代 — 復権する神話」『博物館と文化財の危機』人文書院 2020年
- ・The Restoration of the Ancient Capitals of Nara and Kyoto and International Cultural Legitimacy in Meiji Japan, Robert Heller and Harald Fuess (eds.), *The Meiji Restoration: Japan as a Global Nation*, Cambridge University Press 2020年
- ・The Emperor System and Kyoto: Images of the Ancient Capital, *Kyoto's Renaissance: Ancient Capital for Modern Japan*, Renaissance Books 2020年
- ・「近現代史のなかの映画『祇園祭』— もう一つの明治百年」谷川建司編『映画産業史の転換点 — 経営・継承・メディア戦略』森話社 2020年
- ・「史蹟名勝天然記念物保存法の時代 — 政治と文化財」『遺跡学研究』17号 2021年
- ・「大正期京都のロマン主義と竹久夢二」中川理編『空想から計画へ — 近代都市に埋もれた夢の発掘』

思文閣出版 2021 年

- ・「意見書・近現代大嘗祭の歴史的特質」京都・主基田抜穂の儀違憲訴訟（京都地方裁判所） 2022 年
- ・「近代天皇制と洞村移転」朝治武・黒川みどり編『近代の部落問題』解放出版社 2022 年
- ・「世界遺産と陵墓古墳名称 ― 大山古墳（自治体が決めた文化財名称）の提案」『日本史研究』717 号 2022 年
- ・「近代天皇制と陵墓問題 ― 世界遺産「イコモス評価書」を読む」『歴史科学』256 号 2023 年
- ・「1940 年代の寿岳文章 ― 日本主義と民主主義」高木博志編『近代京都と文化 ― 「伝統」の再構築』思文閣出版 2023 年
- ・「寿岳文章と向日庵本の時代」並木誠士編『近代京都の美術工芸Ⅱ ― 学理・応用・経営』思文閣出版 2024 年
- ・「大正期の文化・学術と茨木キリシタン遺物の発見」マルタン・ノゲラ・ラモス、平岡隆二編『関西の隠れキリシタン発見』人文書院 2025 年

そ の 他

- ・「史料紹介「吉例猿舞の話」」『立命館文学』521 号 1991 年
- ・「国家神道と大嘗祭 ― 宮地報告「天皇制イデオロギーにおける大嘗祭の機能」を聞いて」『歴史評論』494 号 1991 年
- ・「官幣大社札幌神社と「拓殖」の神学」『地方史研究』43 巻 5 号 1993 年
- ・「維新変革における天皇と宗教 ― 宮中年中行事の変容（特集総合プロジェクト研究「幕末・明治期の外国文化受容）」『立命館言語文化研究』5 巻 1 号 1993 年
- ・「初詣や神前結婚式のルーツを探る」『別冊宝島 神道を知る本』宝島社 1993 年
- ・「維新変革における皇室と京都」日本史研究会他編『京都千二百年の素顔』校倉書房 1995 年
- ・「帝の「伝統」を視覚化する〈京都〉〈奈良〉聖地化計画」『別冊宝島 帝都東京』宝島社 1995 年
- ・「好きな言葉・遊」『北海道新聞』1996 年 10 月 2 日
- ・「文化財の近代」『週刊朝日百科 日本の国宝』110 号 朝日新聞社 1999 年
- ・「国民文化の形成」『日本 20 世紀館』小学館 1999 年
- ・「近代の文化財行政と陵墓 ― 皇霊と皇室財産の形成を論点に」陵墓限定公開 20 回記念シンポジウム実行委員会編『日本の古墳と天皇家』同成社 2000 年
- ・「明治維新と古代文化の復興」原田敬一編『幕末・維新を考える』思文閣出版 2000 年
- ・「岡倉天心と日本古代美術史」佐々木克編『それぞれの明治維新』吉川弘文館 2000 年
- ・「日本の近代化と伝統の創出」『「伝統」の創造と文化変容（パルテノン多摩連続講演記録集）』パルテノン多摩 2001 年
- ・「世界文化遺産と日本の文化財保護史 ― 陵墓と御物の非国際性」園田英弘編『流動化する日本の「文化」』日本経済評論社 2001 年
- ・『「私」にとつての国民国家論』（共著）日本経済評論社 2003 年
- ・「近代文書解題」『京都府古文書調査報告書 第 14 集 賀茂別雷神社文書目録』京都府教育委員会 2003 年
- ・「維新変革と天皇をめぐる賤・穢」図録『「血すじ」と「家がら」』大阪人権博物館 2003 年
- ・「日清・日露戦争で近代日本がどうか変わったか？ ― 文化・宗教を中心に」『調査報告書』22 集 仙台市歴史民俗資料館 2004 年
- ・『史料翻刻 藤波言忠 京都御所取調書 1924 年（宮内庁書陵部所蔵） ― 明治維新と京都文化の変容』

科研費成果報告書 2004 年

- ・『川西町史』（明治維新担当，共著）川西町史編纂委員会 2004 年
- ・「近代天皇制と賤・穢」竹沢泰子編『人種概念の普遍性を問う』人文書院 2005 年
- ・「辞書項目 陵墓／即位式と大嘗祭／祝祭日／一世一元制」『天皇・皇室辞典』岩波書店 2005 年
- ・「明治維新と天皇 — 天皇制の身体」菊地暁編『身体論のすすめ』丸善 2005 年
- ・「『郷土愛』と『愛国心』はどのように繋がれてきたか」『論座』朝日新聞社 2007 年
- ・「近代の皇室と仏教信仰 — 晃親王の仏教帰依」『宗教と現代がわかる本 2009』平凡社 2009 年
- ・「旧藩意識と「賊軍」慰霊の問題」国学院大学研究開発推進センター編『霊魂・慰霊・顕彰』錦正社 2010 年
- ・「維新変革と天皇」「開化政策と士族反乱」「大日本帝国憲法発布に向けて」藤井譲治・伊藤之雄編『日本の歴史 — 近世・近現代編』ミネルヴァ書房 2010 年
- ・「閉鎖的な管理をやめ，古墳時代の天皇陵を公開・活用せよ」『中央公論』2011 年 7 月号
- ・「陵墓の近代と「国史」像 — 文化財と「伝説」を通じて」「陵墓限定公開」30 周年記念シンポジウム実行委員会編『「陵墓」を考える 陵墓公開運動の 30 年』新泉社 2012 年
- ・「1895 年，泉涌寺における皇太子明宮の病氣平癒御修法」『宗教と現代がわかる本 2012』平凡社 2012 年
- ・「近代古都研究班とフィールドワーク」『人文』59 号 2012 年
- ・「日本史研究会の歩みと今後の課題，岩井忠熊氏に聞く（聞き手）」『日本史研究』605 号 2013 年
- ・「向日町と昭和初期の文化」『特別展 昭和の向日町と文人』向日市立図書館・向日市文化資料館開館 30 周年記念展示 2014 年
- ・「古都の近代と京都のイメージ」『うるしの近代 — 京都，「工芸」前夜から』京都国立近代美術館 2014 年
- ・『週刊日本の歴史 — 「国民」を生んだ帝国の文化』39 号（長志珠絵と共編）朝日新聞出版 2014 年
- ・「福留照尚先生の思い出」『新修茨木市史年報』10 号 2014 年
- ・「奈良女子高等師範学校と小倉遊亀」『遊亀と靱彦 — 師からのたまもの・受け継がれた美』滋賀県立近代美術館 2014 年
- ・「飛鳥井雅道先生と天皇制研究」『日本歴史』800 号 2015 年
- ・「尾上松之助とその時代」『尾上松之助生誕 140 年記念 日本映画最初の大スター 目玉の松ちゃん』おもちゃ映画ミュージアム 2015 年
- ・「世界遺産と陵墓問題」『天皇陵 — 古代史研究の最前線』洋泉社 2015 年
- ・Where do our images of Kyoto and Japan come from? *Kyoto University Research Activities* Vol. 4 No. 3 2015 年
- ・「茨木時代の川端康成」大阪府立茨木高等学校校史編集委員会編『茨高 120 周年誌』2016 年
- ・「修学旅行と明治神宮以前・以後 — 奈良女高師生の帝都東京体験」『神園』17 号 2017 年
- ・「歴史都市京都のイメージと美術工芸」『石川の歴史遺産セミナー講演録』石川県立歴史博物館 2017 年
- ・「明治十年天皇行幸と富岡鉄斎」『富岡鉄斎 — 和泉国茅渚海畔の寓居にて』堺市博物館 2017 年
- ・「小波魚青《戊辰之役之図》とその時代」『大政奉還 150 周年記念展 新発見！《戊辰之役之図》』星野画廊 2017 年
- ・「明治維新 50 年，60 年の記憶と顕彰 — 近代の主役は普通の市民（明治 150 年を見つめ直す）」『新聞研究』803 号 2018 年

- ・「天皇制の聖地の形成」都市史学会編『日本都市史・建築史事典』丸善出版 2018 年
- ・「近代の向日神社」『向日神社史』向日神社 2018 年
- ・「世紀転換期の京都イメージと黒田清輝の「舞妓」「昔語り」」「大正期京都のロマン主義・花街・舞妓・夢二」京都文化博物館編『舞妓モダン』青幻舎 2020 年
- ・「近代天皇制と「陵墓」」陵墓限定公開 40 周年記念シンポジウム実行委員会編『文化財としての「陵墓」と世界遺産 ―「陵墓限定公開」40 周年記念シンポジウム』新泉社 2021 年
- ・「社会を描く ― 笠木治郎吉「下校の子供たち」と星野画廊」『企画展示 学びの歴史像 ― わたりあう近代』国立歴史民俗博物館 2021 年
- ・「史料紹介 民芸同人・寿岳文章宛水谷良一書簡（向日庵所蔵）」『人文学報』120 号 2023 年
- ・「序論 京都の近代 ― 美術・工芸と教育の歩みを重ねて」『美術の教育／教育の美術』京都工芸繊維大学・美術工芸資料館 2021 年
- ・「『日本部』の共同研究の思い出」『人文』69 号 2022 年
- ・「京都時代、竹久夢二のロマン主義と花街・遊廓」『竹久夢二研究』〔竹久夢二学会誌〕3 号 2022 年
- ・「解説『異国の夢二』と併走して」ひろたまさき『異国の夢二』講談社 2023 年
- ・「明治維新と天皇制 ― 古都京都・奈良の形成」『龍谷史壇』158 号 2024 年
- ・「岩井忠熊先生と現代史」『人権と部落問題』982 号 2024 年
- ・「大阪歴史学会近代史部会（『近代史研究』）と服部先生」『服部敬 人と学問』同刊行会 2024 年
- ・「西川祐子先生と長夫先生の学恩」『（京都文教大学）総合社会学部研究紀要』26 集 2025 年
- ・生駒市史史料集第 4 集『近世・近代史料 4 史料に見る生駒の近現代 ― 村から町、そして市へ』（遠藤俊六・北野裕子・田中智子・福家崇洋・山上豊と共著）生駒市 2025 年